



あんど



マットゥー先生による英語教育（安堵こども園）

令和4年 3月定例会

審議案件	P 2
委員会報告	P 3
一般質問（4名の議員が一般質問を行いました）	P 4～7
議員発議、定期監査報告、議会のうごき、次回の定例会予定	P 8

令和4年3月定例会

第1回定例会を3月1日から17日までの17日間で開催しました。

	議 案	会 議 結 果
報告第 1号	議会委任の町長専決処分（損害賠償の額の決定）	報告
報告第 2号	専決処分 令和3年度一般会計補正予算（第9号）	満場一致承認
報告第 3号	専決処分 令和3年度一般会計補正予算（第10号）	満場一致承認
報告第 4号	専決処分 令和3年度一般会計補正予算（第11号）	満場一致承認
議案第 1号	安堵町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	満場一致同意
議案第 2号	安堵町人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	満場一致適任
議案第 3号	押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	満場一致可決
議案第 4号	安堵町個人情報保護条例の一部改正	満場一致可決
議案第 5号	職員の育児休業等に関する条例一部改正	満場一致可決
議案第 6号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第 7号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第 8号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第 9号	安堵町職員の旅費に関する条例の一部改正	満場一致可決
議案第10号	安堵町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	満場一致可決
議案第11号	令和3年度一般会計補正予算（第12号）	満場一致可決
議案第12号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	満場一致可決
議案第13号	令和3年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	満場一致可決
議案第14号	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	満場一致可決
議案第15号	奈良県広域消防組合理約の変更	満場一致可決
議案第16号	令和4年度一般会計予算	満場一致可決
議案第17号	令和4年度国民健康保険特別会計予算	満場一致可決
議案第18号	令和4年度下水道事業特別会計予算	満場一致可決
議案第19号	令和4年度介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	満場一致可決
議案第20号	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算	満場一致可決
議案第21号	令和4年度水道事業会計予算	満場一致可決
報告第 5号	令和4年度土地開発公社予算の報告	報告
発議第 1号	ロシアのウクライナへの侵攻を非難する決議	満場一致可決
議案第22号	行政組織の変更に伴う関係条例を整理する条例の制定	満場一致可決

一般会計予算審査特別委員会

委員長 増井敬史

○議案第16号「令和4年度安堵町一般会計予算」

〔全会一致可決〕

【報告概要】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大とその対策の影響が継続する中で、依然として厳しい財政状況であると認識される。

財政健全化計画中であり、継続的な事業を中心に持続可能な行政サービスを目指す予算編成となった。

歳入歳出総額35億円、前年度比▲2億2000万円(▲5.9%)減額。

(歳入)町税全体として約1657万円の増額、環境性能割交付金は約228万円の増額、地方交付税は約1億1200万円の増額、国庫支出金は減額、県支出金は増額、財産収入は土地売却収入による増額を見込んでいる。町債は大幅な減額となる見込みである。約2億1300万円の財源不足は繰越金及び財政調整

基金の繰入による。

(歳出)新規事業として、自治

体オンライン手続き環境構築事業、参議院議員選挙、町長選挙・

町議会議員補欠選挙、災害対策

用備品購入、ロータリー車購入、

改良住宅下水道接続事業等の予算が計上されている。

・経費削減の観点から、設備等の維持修繕費、更新費用に関して

活発に多くの質問がされた。

・町営住宅の高架水槽取替工事

に関しては、将来的に町営住宅

の有り方について検討する必要

が有るとの意見があった。

・二年間開催が中断されている

「敬老の集い」の取組についても

提案がされた。

・システム改修による新規事業

が多いことから、「デジタル化

に伴うセキュリティ保護につい

て」をテーマに議員勉強会を開

催することになった。

特別会計等予算審査特別委員会

委員長 山岡 敏

【報告概要】

○議案第17号「令和4年度安堵町国民健康保険特別会計予算」

〔全会一致可決〕

歳入歳出総額は、10億4801万円であり、前年度と比べ48

81万円(4.9%)の増。

委員より活発な質疑があった。

コロナ感染予防のためのワク

チン接種の今後の計画や経口薬

品の開発が進んでいるが、国保

会計と大きな関連性があるので

注視していく必要性がある。

○議案第18号「令和4年度安堵町下水道事業特別会計予算」

〔全会一致可決〕

歳入歳出総額は、2億7144万円であり、前年度と比べ

3098万円(10.2%)の減。

下水道事業の公益企業法適正

化業務委託費の減少及び公営企

業財政健全化支援事業に伴う償

還が令和3年度で完了したため。

○議案第19号「令和4年度安堵町介護保険特別会計(保健事業勘定)予算」

〔全会一致可決〕

歳入歳出総額は、8億875万円であり、前年度と比べ34

91万円(4.5%)の増。

歳出予算の保険給付費の中、特に施設介護サービス給付費が前年度より2017万円増額したため。

〔全会一致可決〕

歳入歳出総額は、1億3020万円であり、前年度と比べ

1830万円(14%)の増。

後期高齢者医療広域連合への負担金(納付金)の増額による

ものである。

○議案第21号「令和4年度安堵町水道事業会計予算」

〔全会一致可決〕

歳入歳出について、水道事業

収益1億8343万円で、前年

度と比べ1317万円(6.7%)

の減、水道事業費用

1億7926万円、前年度と比

べ294万円(1.6%)の減。

また、資本的収入は、120万

円、資本的支出は5486万円

である。





ますい けいじ
増井 敬史

災害に強いまちづくり —防災意識高揚の取組を—

耐震診断・耐震補強の取組について

問 大事なことは大地震の第一撃で命を落とさないことである。老朽木造住宅の下敷きになり、窒息死することを防ぐ為にも住宅の耐震補強が大切であるため、どのように取り組まれているか伺う。

答 事業部長 町の広報やホームページによる助成制度の案内に加えて、今年度から耐震啓発のパンフレットを郵送して耐震化に対する意識啓発に努めている。

行政による住民ボランティアの支援と防災意識高揚の取組について

答 総務部長 大規模災害時の応急対策は住民の方々の参画が大変重要になってくる。防災機能を高める為に、防災リーダーの育成を

図っている。防災士資格取得制度を開始し職員も今年一名資格を取得した。区長会等への啓発を機会あるごとに行い、各地区で防災講習を実施していく。各地区において自主防災リーダーの育成及び選出を依頼して、目標としては令和4年度中に全地区の自主防災組織結成を目指し、その結成

ができた暁には防災推進協議会の設置も視野に入れて進めていく。



防災講習会の開催について

答 総務部長 コロナ禍で住民の皆様には施設利用等の制限を設け、町の行事を中止している中で、広く住民を募った防災講習会の開催

は断念している。大規模災害時の応急対策は住民の方々の参画が重要となってくるので、引き続き次年度以降も開催を考えている。直近の対応としては、区長会等の身近な所から十分な感染対策のもと、講習会又は研修会を実施したいと考えている。



3月24日開催の防災研修会（議員参加）

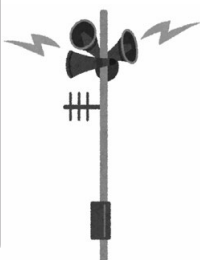
早期に自主防災組織設立を

増井 区長会に、自主防災組織を設立しようとか、防災リーダーを育成して下さいとか依頼されていたが、一向に進展していない。

例えば奈良県防災士会から講師を派遣してもらって講習会を開催するとか、具体的に進めていかなくは住民の皆様から防災リーダーを育成することは出来ないと思う。

防災推進協議会も各地区からメンバーを選任して、研修会を開催し、防災リーダーを育成する方が良いのではと考える。

その他の質問



感震ブレイカー設置の取組について



もりた ひとみ
森田 瞳

魅力ある子育て・教育の 推進について

—柔軟な地域のクラブ活動化の実現を—

問 町立学校給食センターの完全実施、町立学校の空調整備、幼保統合型のこども園開園等々ハード面において、成果が顕著に表れている。一方、ソフト面の実績は不明確である。

答 安堵町独自の実情に即した教育の指針等、魅力ある子育て・教育を推進するために、どのような策を講じようと考えておられるのかお伺いしたい。

問 教育次長 「安心できる教育環境の整備」に基づきハード面の目標に向けて著しく進捗させることができた。

答 加えて、GIGAスクール構想に基づく町立学校のICT設備が整い、特別教科・道徳の実施、小学校高学年の外国語の教科化、新学習指導要領に基づいた教育の実施等を行っている。ソフト面では「0歳から15歳まで」の視点を大切にしながら、安堵町のこども園・小学校・中学校が接続したカリキュラムを作成す

るなど、一貫した特色ある教育の創造を目指し協議を進めている。

将来を見据え、小中一貫教育や義務教育学校等、今後は制度についても調査研究を進め、子どもの個性と能力を伸ばす有効な方法を学校・家庭・地域の方々の協議の特別委員会の意見を聴きながら特色ある教育の実現に努めていきたい。

問 平成元年頃から児童・生徒数が減少傾向にある。全国的な人口は2割程度減少している。この実態は、注視すべきと捉えている。

中長期的な視点では、小中一貫教育の必要性も必ず問われることになると思われるが、例えばクラブ活動において特色ある魅力的なものを取り入れ、有能なる指導者を招へいし、「あんな学校だったら行きたいな」という子どもと保護者の希望が上手くかみ合えば、人口減少の歯止め対策に有効であると考える。何か特

化した教育ということについて、構想があれば示していただきたい。

答 こども園から小学校への接続プログラムは既に作成している。今後は、小学校から中学校へ同様につなげていきたい。

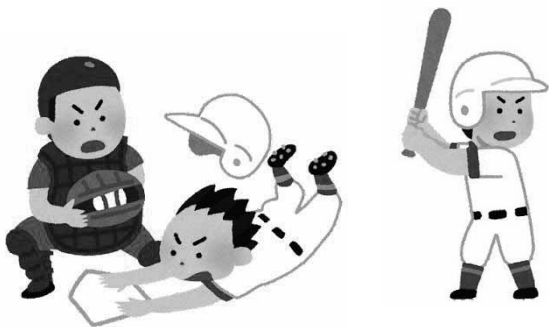
有効な具体的な策は、まだ見出せていないが、基本となる学力と体力の向上にまず取り組んでいくために、3校園がどのような連携を図っていくかを突き詰めていきたい。その先に、こ小中一貫した、特色ある教育の創造というものを具現化することを目指していきたい。

問 学校のクラブでは困難な状況もあるなかで、社会教育の面で推進していくことができるが、どのように考えるか伺う。

答 部活は数も種類も限られている。生徒数減少で学級数が減り、教員の人数も減少している。柔軟性のあ

る地域のクラブ活動化の実現に向かうことは、今の方向性であり目標である。その運営組織づくり、指導者の人材確保に前向きに取り組んでいきたい。

森田 安堵町の実態の懸案事項を皆と進んで解決していただきたい。我々議会もすべてのことに協力を惜しまないことをここで約束させていただきます。





あさの つとむ
浅野 勉

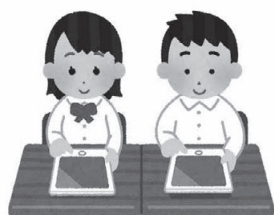
魅力ある学校教育の推進 のため、GIGAスクール 構想の展開は？

問 新たにパソコン等を導入したICT（情報通信技術）教育環境での具体的な学習実践は？

答 教育次長 ①オンライン学習を中学校で週2回程度実施。小学校は家庭での接続確認を行っている段階。

②デジタル教科書の導入状況は、平成28年度から教員用デジタル教科書を導入。順次、児童生徒用も導入計画を進めている。

③児童生徒用のタブレット端末は各自に配備するため総数410台を導入。現在は、家庭に持ち帰り宿題等にも活用している。



④校内のネットワーク環境は、無線LAN設備が完了。体育館などではモバイルルーターを活用し、タブ

レット端末が使用出来るように整備した。

⑤教職員の学校業務負担軽減のためのネットワーク整備とシステム構築が完了し、令和4年度から「奈良県統合型校務支援システム」の運用を開始する。

問 情報機器等の使用時の管理は？

答 個人情報保護のセキュリティ対策は、各児童生徒にはそれぞれ個別のパスワードを設定し、パソコン使用時に対応した個人情報保護に努めている。

問 情報機器を活用した授業の展開は？

答 ①「アクティブラーニング」の授業展開について、小中学校共にタブレット端末を活用した学習を進めている。自らの課題をインターネットで調べて発表したり、グループ学習で集約したりしている。



授業中に互いに端末の使用について教え合いをしながら学習を進めているという報告もある。

②児童生徒用のデジタル教科書の導入について、小学校では令和3年度に5・6年生に「国語」を導入し、令和4年度には5・6年生に「社会」と「英語」を導入する。

デジタル教科書は児童生徒がタブレット端末で閲覧ができ、文字や図表の拡大機能もある。また、教職員にとっても授業中に個々の児童生徒の意見を把握できるなどの効果や利点があると聞いている。

令和4年度に導入される「英語科」では、英単語や文章の音声再生や録音の機能があり、従来の教科書にはない機能が魅力的である

と聞いている。

問 教職員の人材確保と学習支援員等の導入は？

答 ①令和3年度は、小学校に奈良県教育研究所から、「理科観察実験アドバイザー」の派遣を受けた。

理科の授業の際には、実用具の準備や授業中には児童の興味・関心を高める等、より効果が高まったと認識している。



②ICT（情報通信技術）支援員を配置して、小中学校に派遣している。教職員の指導力向上のため研修会を開催したり、授業中には児童生徒の学習サポートに活躍したりしている。

令和4年度も配置を継続する。



まつだ まさる
松田 勝

危機管理室の活動状況は？ 自主防災リーダーの選出が重要 防犯推進協議会の強化も

大規模災害時に対応可能な体制づくりを

問 昨年11月に発足した危機管理室は、まだ4か月しか経過していないこともあり、住民にわかりにくい活動となっているのではないかと危機管理室の主たる目的及び本日まで活動状況について伺う。また、目的達成のための今後の活動計画を伺う。

答 総務部長 大規模な自然災害、新型感染症等の感染拡大及び業務上のリスク等、危機が発生した時に総合的な危機管理体制の一層の充実・強化を図ることを目的としている。また、令和3年から防災士資格取得助成制度による防災リ



ダー育成などを図っている。ハード面では避難所へのLPガス発電機の配備、自動車会社との給電協定などを実施。

問 避難を終えた後の空き巣対策も重要である。防犯推進協議会の強化も必要になるものと思われるが如何か。

避難時の空き巣にご用心

情報セキュリティの強化は大丈夫？ 職場環境の整備も大事

住民データの管理は大丈夫？

を完全に分離していることから、徳島県の病院のような恐れが無いと認識している。

作業に見合った要員配置と環境整備は如何に？

答 総務部長 要員配置等については令和4年4月1日に向けて検討中である。また、職場環境の整備についても現在検討中である。結果が出次第説明させていただく。

答 総務部長 行政系、個人情報を含めた事務系、インターネット接続系の三つ

問 危機管理室の業務は多岐にわたることから、必要要員数の見直し、また事務所の場所を含む職場環境の整備が必要と思われる。考え方を伺う。

答 総務部長 防犯推進協議会の活動としては、日常見守りとパトロール等をしていただいている。今後は、大規模災害発生時を想定し、防犯推進協議会の皆様と連携しながら進めていく。



議員発議

○発議第1号「ロシアのウクライナへの侵攻を非難する決議」

満場一致可決

提出者 山岡 敏

賛成者 福井保夫、松田勝、

増井敬史、三浦博、

浅野勉、森田瞳、

大星成司

【報告概要】

本年2月24日に、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、今なお民間人を含む多くの犠牲者を出し続けている。他国の主権と領土を侵すこの行為は、武力の行使を禁ずる国際法、さらには国連憲章の重大な違反である。国際秩序の根幹を揺るがし、国際社会の平和と安全を大きく損なうもので、断じて容認できない。
安堵町議会は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害を強く非難し抗議すると

もに、ロシアに対し、攻撃の即時停止と部隊の完全撤退を強く求めることを決議した。

抗議文

ロシアのウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に強く抗議するため、ロシア大使館に抗議文を送付した。

この抗議文は全議員賛同のもと、議長と町長の連署で発出した。全文は安堵町ホームページに掲載している。

定期監査報告

本定例会初日に、監査委員から定期監査の結果報告があった。詳細は安堵町ホームページ「監査」内に報告書を掲載している。



議会のうごき

2月	4日	文教厚生常任委員会
	15日	議案事前説明会
	18日	議会運営委員会 議員勉強会
3月	1日	第1回定例会
	2日	本会議(開会)
	3日	本会議(一般質問)
	4日	一般会計予算審査 特別委員会
	9日	特別会計等予算審査 特別委員会
	11日	子供及び子育て世代 の人口増に関する 対策検討特別委員会
	17日	議会運営委員会 本会議(閉会)
4月	24日	第1回広報編集部会 第2回広報編集部会
	8日	議員会総会 第3回広報編集部会 議員勉強会

次回の定例会(予定)

4月21日	議案事前説明会
26日	議会運営委員会
5月10日	第1回臨時会
17日	本会議(開会)
23日	議案事前説明会
6月2日	議会運営委員会
3日	第2回定例会
6日	本会議(開会)
7日	本会議(一般質問)
13日	総務産業建設常任委員会
15日	文教厚生常任委員会
	議会運営委員会
	本会議(閉会)

議会を傍聴しよう!!

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会等を傍聴される方は、次の項目について、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

- 入場時に手指の消毒を行ってください
- 室内ではマスクの着用など咳エチケットの励行に努めてください
- 37.5度以上の熱、強いだるさ、息苦しさがある場合は、傍聴をご遠慮願います